

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2020-18 頸部食道癌治療に関する全国調査
当院の実施責任者研究及び職名	耳鼻咽喉科・気管食道科 部長 川崎 泰士
他の研究機関および各施設の研究責任者	東京医科歯科大学頭頸部外科学分野・食道外科学分野 朝蔭孝宏(研究代表者) 日本気管食道科学会認定専門医研修施設 代表者
研究期間 (西暦)	東京医科歯科大学医学倫理審査委員会承認後(2019年11月22日) ～ 2023年12月31日まで
研究の目的	現在、わが国における cStage II, III 胸部食道癌に対する標準的治療はシスプラチン+5-FUによる術前化学療法+手術療法である。一方、欧米では術前化学放射線療法+手術療法が標準的である。頸部食道癌は胸部食道癌と比較して、はるかに発生頻度が低く治療に関する十分なエビデンスが確立されていない。頸部食道癌は局所進行癌として発見されることが多く、喉頭合併切除されることが多い。そして解剖学的に耳鼻咽喉科頭頸部外科領域と食道外科領域の境界に位置することから、それぞれの科で治療が行われているのが実際である。耳鼻咽喉科頭頸部外科で治療を行う場合は、手術が先行され、病理検査の結果、切除断端陽性もしくはリンパ節転移節外浸潤陽性の場合は術後化学放射線療法を追加するのが一般的である。逆に外科で治療を行う場合は、胸部食道癌と同様に術前化学療法後に手術を行うのが一般的である。また、喉頭温存目的に化学放射線治療が行われる場合もある。このように大きく三通りの治療が行われているが、その実際は明らかではなく治療成績、治療関連合併症、治療後の QOL など不明な点が多い。今回の調査で現在のわが国における頸部食道癌治療の実態を明らかにすることを目的としたい。
研究の内容	日本気管食道科学会認定専門医研修施設 227 施設で 2009 年 1 月～2014 年 12 月までの 5 年間に根治治療を施行した頸部食道癌の診療実績に関

	<p>する、Case report form(CRF)への登録を行う。提供施設は、別途研究機関名と提供者の名前を記したリストを作成し、毎年行われる実施状況報告書と併せてそのリストを提出する。その後、年齢、性別、部位、TNM分類、Stage、既往歴、喫煙・飲酒歴、治療内容、治療関連合併症、予後、再発転移の有無、最終確認時の喉頭温存の有無、経口摂取の有無などの情報をカルテより後ろ向きに抽出し、東京医科歯科大学にて中央集計のうえ解析する。静岡赤十字病院のデータ管理の責任者は川崎泰士とする。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>試料の匿名化：有り（東京医科歯科大学、静岡赤十字病院、日本気管食道科学会認定専門医研修施設） 連結表管理：東京医科歯科大学頭頸部外科学分野・食道外科学分野 朝蔭 孝宏</p>
<p>問い合わせ先 (拒否等受付窓口)</p>	<p>【研究担当者】 所属：静岡赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道科 氏名：川崎 泰士 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311</p>